

# 令和7年度事業計画

令和6年度は、コロナの5類感染症移行後、観光にも日常が戻り、令和6年3月にリニューアル公開したホームページ「いわての旅」での情報発信や大都市圏での観光客誘致説明会の開催などを通じて誘致拡大と本県の国内外への知名度向上を図るとともに、「いわて観光データマネジメントプラットフォーム<sup>注1</sup>（いわて観光DMP）」を活用したデータマーケティングの市町村への普及や地域での観光地域づくりの支援に取り組んだ。

令和7年度、国内観光については、秋季（令和7年9月～11月）に、岩手県がJR東日本の重点共創エリアに指定され、秋祭りをはじめとする観光素材を、国内だけでなくインバウンドを含めて売り込む観光キャンペーンが展開されることから、祭りに加え、自然や食など魅力的な観光素材を首都圏等にPRする好機と捉え、県内各地の観光資源や周辺観光を広く情報発信し、観光客の誘致拡大と県内の周遊・滞在化の促進に取り組む。

国際観光については、ニューヨーク・タイムズ紙効果を引き続き最大限にいかしながら、欧米を中心に外国人観光客が増えている「みちのく潮風トレイル」などの話題のコンテンツの発信や、台湾やタイの現地イベントや商談会等での本県観光の誘致拡大に取り組む。

また、令和4年度から行っている観光データの収集や分析を引き続き実施し、得られた結果を地域に提供するとともに、各地域における観光地域づくりの取組を支援しながら、県域のDMO<sup>注2</sup>として地域間競争に対応できる観光地域づくりに取り組む。

こうした考え方方に立って、協会賛助会員等（県、市町村、市町村観光協会、観光関係団体、民間企業等）と緊密に連携し、以下の重点事項を中心に事業を展開する。

## 1 観光宣伝紹介

観光総合サイト「いわての旅」へのアクセス動向を分析しながら、ホームページやSNSを活用した観光情報の発信を強化し、本県観光の魅力のタイムリーな情報発信に努める。

## 2 国内観光客の誘致促進

大都市圏からの観光客の誘致拡大と本県の知名度向上を図るため、観光客誘致説明会を開催し、本県観光の魅力発信に取り組む。

教育旅行についても説明会を開催し、探究学習（SDGs<sup>注3</sup>や歴史・防災学習など）を主体とする旅行や受入態勢などの紹介宣伝を行うとともに、方面変更等の相談対応や学校への支援を行う。

### **3 国際観光の推進**

外国人観光客の誘致拡大を図るため、県等と連携して、台湾やタイなどでの旅行博や商談会へ参加し、本県観光の紹介宣伝を行うほか、来県する海外の旅行会社やメディアの県内視察や商談会の実施を支援する。

### **4 受入態勢の整備**

おもてなしの一層の向上を図るため、接遇研修会やSNS活用研修会、バリアフリー観光<sup>注4</sup>の受入を促進するための研修会などを開催する。また、インバウンドに係る接遇研修として、台湾、中国に加え、新たに欧米人向けの接遇に対する講師派遣を行い、受入態勢を強化する。

### **5 観光団体等への支援と連携**

観光団体等の取組への支援・協力のため、国内外で開催される観光PRイベントへの参加や、関係機関との連携に必要な負担金の拠出を行う。

また、物価高騰等による価格転嫁が困難な教育旅行受入に伴う負担軽減のため、宿泊施設に対する支援金を支給する。

### **6 県域DMOとしての観光地域づくり**

地域間競争に対応できる観光地域づくりを目指すため、いわて観光DMPを拡充するとともに、県内各地域での観光データの利活用を促進するほか、各地域の行う観光地域づくり（課題分析や戦略立案など）を支援する。

## 事業別事業計画

### I 【観光宣伝紹介】

#### 1 観光情報の発信

##### (1) 観光情報高度化推進事業

観光情報総合サイト「いわての旅」へのアクセス動向を分析しながら、観光情報の集積や旬な情報の発信を強化する。

また、当協会公式SNSを活用し、若年層を中心に本県観光の魅力をタイムリーに発信する。

##### (2) 観光情報システム分担金事業

(公社) 日本観光振興協会の観光総合サイト「JAPAN 47 GO」を活用した情報発信や、「全国観光情報データベース」の整備・運用等に係る分担金を拠出する。

##### (3) パブリシティ(宣伝媒体)有効活用事業

首都圏や近県等で販売、配布される地域情報誌等を活用した観光情報の発信に取り組む。

##### (4) 観光宣伝媒体作成事業

「岩手県観光案内図（いわて旅の地図）」を更新し、本県を訪れる観光客等に広く配布する。

##### (5) 観光キャラクター活用事業

PRキャラクター「わんこきょうだい」グッズを作製し、各種観光キャンペーンなどで広く配布するほか、首都圏でのイベント等で販売する。

### II 【国内観光客の誘致促進】

#### 1 国内観光客の誘致促進

##### (1) 観光客誘致説明会

いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都、名古屋市及び大阪市において、旅行商品造成・仕入担当者等を対象とした観光客誘致説明会を開催し、本県観光の魅力を発信する。

##### (2) エージェント(旅行会社)招待事業

県内の魅力ある観光資源や震災後に新たに生まれたコンテンツ等を含めた旅行商品の造成や販売、新たな観光資源の発掘や磨き上げを促進するため、県外旅行会社を招待し、現地視察及び意見交換を行う。

#### 2 教育旅行の誘致促進

函館市、札幌市、東京都及び大阪市において教育旅行説明会を開催するとともに、説明会開催地及び仙台市の旅行会社を訪問し、本県の魅力ある教育旅行メニュー受入態勢等の紹

介宣伝を行う。

また、方面変更を検討する学校への相談対応や支援、本県での探究学習等の価値について発信する教育旅行ガイドブックの更新にも取り組む。

### III 【国際観光の推進】

#### 1 外国人観光客の誘致宣伝

外国人観光客の誘致に向けて、県等と連携して台湾やタイなどの旅行博や現地商談会に参加し、「みちのく潮風トレイル」などの観光コンテンツの紹介や情報の発信に取り組む。

#### 2 外国人観光客の受入

##### (1) 国際航空便歓迎行事等

いわて花巻空港を利用して来県する台湾などからの外国人観光客に対して、歓迎メッセージの掲出や記念品配布等の歓迎行事を実施する。

##### (2) 外国人観光案内所運営支援（いわて・盛岡広域観光センター）

盛岡駅2階の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「V案内所<sup>注5</sup>」の運営に対し経費の一部を負担する。

##### (3) 外国人観光客受入態勢整備事業

海外の旅行会社やメディアを受け入れる際、滞在環境等について意見交換するほか、県等と連携し、県内視察や観光関係者との商談会の実施を支援する。

#### 3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」の管理運営を県から受託して、韓国で開催される観光商談会への参加など、4道県が連携して実施する事業を行うほか、北東北三県・北海道ソウル事務所長をソウルに駐在させる。

### IV 【受入態勢の整備】

#### 1 来県する観光客への対応

##### (1) 「いわて観光おもてなしセンター」・「V案内所」管理運営

協会に「いわて観光おもてなしセンター」及び「V案内所」を設置し、国内外からの来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求等に対応する。

##### (2) いわて・盛岡広域観光センター運営支援

本県の観光情報の提供や相談対応を行う盛岡駅2階の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」の運営に対し、経費の一部を負担する。

## 2 観光人材の育成

### (1) 観光ガイド育成事業

県内各地で活動する観光ガイドの技術向上とネットワーク化を目的とした「岩手県観光ガイド連絡協議会」の活動に対し経費支援を行う。

### (2) 観光業務優良従事者表彰

5月 16 日の「観光の日<sup>注6</sup>」事業の一環として、各団体から他の模範とするに足ると認められて推薦された者を優良従事者として表彰する。

### (3) 接遇及び観光課題研修事業

県内各地で開催される接遇研修会に本協会が認定した「いわて観光おもてなしマイスター<sup>注7</sup>」や、インバウンド向けとして（中国、台湾、欧米）、外国人講師を派遣する。

また、観光関係者のニーズの高いS N S活用研修会を開催する。

## 3 多様な顧客ニーズへの対応

### (1) 「いわてバリアフリー観光情報案内所」管理運営

協会に設置した「いわてバリアフリー観光情報案内所」において、県内宿泊施設等のバリアフリー観光への対応状況について情報提供するほか、受入を促進するための研修会を行う。

### (2) 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000(平成 12)年に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう、5月 16 日を「いわて観光の日」と定めており、この日を記念して講演会等を行う。

## V 【観光団体等への支援と連携】

### 1 関係団体等への支援

#### (1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会に対する負担金を拠出し、その活動を支援する。

#### (2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会に対する負担金を拠出し、スキーパーク等の誘客活動を支援する。

#### (3) 各種キャンペーン支援事業

県や関係機関が実施する各種観光キャンペーンへの支援・協力として観光イベントに参加・出展し、観光PRを行う。

#### (4) 賛助会員のニーズ把握及び自主的取組への支援

賛助会員への訪問やアンケートによりニーズを聴き取りながら、事業運営に反映すると

とともに、賛助会員の行う自主的な観光振興の取組に対して支援、協力を行う。

## 2 関係団体等との連携

### (1) (公社) 日本観光振興協会への拠出金

47 都道府県等で構成する (公社) 日本観光振興協会のツーリズムEXPOジャパンなどの全国広域観光振興事業等への支援を通じて、インバウンドを含めた県内外からの観光客の誘致拡大を図るため、同協会に対し拠出金等を負担する。

### (2) (一社) 東北観光推進機構事業

東北7県・民間団体等で構成する (一社) 東北観光推進機構のオール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などを通じて、本県への観光客の誘致拡大を図るため、同機構に対し負担金を拠出する。

### (3) 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県観光立県推進協議会が行う、大都市圏でのプロモーションや旅行会社等の招請事業を通じて本県への観光客の誘致拡大を図るため、協議会に対し負担金を拠出する。

### (4) 観光宣伝事業等負担

岩手県空港利用促進協議会等の観光関係団体等に対して負担金を拠出する。

## 3 魅力ある観光地づくり支援事業

### (1) 教育旅行受入施設支援緊急対策事業

急激な物価変動への対応が難しい教育旅行受入に伴う負担軽減のため、宿泊施設に対する支援金を支給する。

## VI 【県域DMOとしての観光地域づくり】

### 1 魅力ある観光地域づくりへの支援

#### (1) データ分析・マーケティングの強化

地域資源を生かした特色ある優れた観光地域づくりを推進するため、県や専門人材と連携し、引き続き、いわて観光DMPの拡充を図るほか、同DMPを活用したデータ分析結果等を地域の事業者等へ提供するとともに、地域説明会を実施し、地域の伴走支援につなげる。

#### (2) 観光地域づくり実践地域の育成

観光地域づくりに課題を抱える地域に専門人材を派遣して、いわて観光DMPを活用しながら、課題分析や戦略立案などを行い、観光地域づくりの高度化を支援するとともに、新たに、マーケティングレベルアップに係るワークショップを実施する。

#### (3) いわて観光DMPを活用した調査の支援

市町村等が行ういわて観光DMPを活用した自地域独自のアンケート調査等を支援する。

## VII 【その他】

- 1 観光団体等が主催するM I C E<sup>注8</sup>の誘致活動に対して支援、協力を行う。
- 2 国際リニアコライダー（I L C）<sup>注9</sup>の実現に向けて、観光面から支援、協力を行う。
- 3 県や関係団体のグローバル人材の育成活動に対し、観光面から支援、協力を行う。

### 【注書きに係る用語解説】

- 
- 注1 いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光DMP）：科学的アプローチによる合理的な判断に基づき、着地整備の効果的な展開や戦略的なプロモーションを実施するため、令和4年度より岩手県が整備している各種観光データの収納・分析機能を備えたシステムのこと。
- 注2 DMO : Destination Management/Marketing Organization の略。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、データマーケティングなどの科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。観光庁の登録要件を満たす法人は「登録DMO」に、その候補となり得る法人は「候補DMO」として登録される。
- 注3 SDGs : Sustainable Development Goals の略。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。
- 注4 バリアフリー観光：すべての人が楽しめるように創られた旅行。主に高齢者や障がい者に対応した旅行のこと。
- 注5 V案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光案内所(ビジット・ジャパン案内所)。
- 注6 観光の日：松尾芭蕉が東北・北陸地方に旅立った日である5月16日を「いわて観光の日」として制定。
- 注7 いわて観光おもてなしマイスター：マイスターは「名人」などを意味し、いわて観光おもてなしマイスターは、おもてなしの心と豊富な観光知識で観光客に応対することができる方として、当協会が認定。（現在54名）
- 注8 M I C E : Meeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行）、Convention（国際機関・団体、学会等が行う国際会議）、Exhibition / Event（展示会・見本市、イベント）の頭文字をとったもの。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
- 注9 I L C : 国際リニアコライダー：地下トンネルに建設される大規模研究施設で、大型の線型加速器としては、世界最高・最先端の電子・陽電子衝突型加速器。